

第67回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成21年7月～9月期

平成21年7～9月期の国内景気をみると、大企業・中堅製造業で着実な持ち直しがみられた。円高懸念はあるものの輸出は堅調で、さらに景気の牽引役である自動車や電機の業種においてエコカー減税やエコポイントなどの経済政策の効果が表れてきたことによるとみられる。

トラック運送業界でも、業界の景況感の判断指標は▲94となり、前回から25ポイント改善した（前回▲119）。景気の持ち直しによる貨物需要の回復が顕在化し、また、輸送数量、営業収入の改善にも増して、営業利益の改善が進んだ。

平成21年10～12月期の見通しも、判断指標は▲76で、改善傾向が続く見込み。

平成21年10月30日

社団法人 全日本トラック協会

1. 今回（平成21年7月～9月期）の状況

(1)概況

平成21年7～9月期におけるトラック運送業界の景況感は、「悪化」とした事業者は71%（前回81%）、「好転」とした事業者は4%（前回4%）で、判断指標は▲94となり、前回から25ポイント改善した（前回▲119）。

貨物別では、特に宅配以外の特積貨物、一般貨物が改善した。宅配貨物についても持ち直しがみられる。

(2)特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が70%、「増加」とする事業者が5%で、判断指標は▲90となり、前回（▲98）から8ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が70%、「増加」とする事業者が4%で、判断指標は▲91となり、前回（▲96）から5ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が65%、「増加」とする事業者が10%で、判断指標は▲76となり、前回（▲88）から12ポイント改善している。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が76%、「増加」とする事業者が7%で、判断指標は▲91となり、前回（▲110）から19ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が76%、「増加」とする事業者が6%で、判断指標は▲97となり、前回（▲112）から15ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が64%、「増加」とする事業者が11%で、判断指標は▲76となり、前回（▲94）から18ポイント改善している。

(3)一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が69%、「増加」とする事業者が5%で、判断指標は▲89と、前回（▲105）から16ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が69%、「増加」とする事業者が8%で、判断指標は▲88となり、前回（▲106）から18ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が63%、「増加」とする事業者が10%で、判断指標は▲75となり、前回（▲99）から24ポイント改善している。

(4)運賃水準

運賃水準は、宅配貨物の判断指標は▲43（前回▲46）、宅配以外の特積貨物は▲45（前回▲40）、一般貨物は▲38（前回▲45）となっており、やや下落の水準が続いている。

(5)実働率等

実働率は▲67（前回▲86）、実車率は▲61（前回▲80）で、改善しつつある。

雇用状況は▲27（前回▲48）で、人手の過剰感は薄まりつつある。採用は▲36（前回▲43）で、やや減少が続く。所定外労働時間は▲56（前回▲71）で、やや減少となっている。

保有車両台数は▲34（前回▲36）で、やや減少が続く。貨物の再委託（下請運送会社への委託）は▲62（前回▲73）で減少が続いている。

(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、北陸信越、九州以外の地域では明確な持ち直しがみられた。ただし、水準としてはいまだ低く、とくに中部、中国、北陸信越は大幅悪化となっている。

事業者の規模別では、中規模事業者で大幅悪化が続いている。

主な取扱い品目別では、すべての品目で持ち直したが、水準としてはいまだ低く、とくに機械関連貨物は大幅悪化が続いている。

2. 今後（平成21年10月～12月期）の見通し

(1) 概況

平成21年10～12月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲76で、改善傾向が続く見込み。

(2) 特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも改善の見込み。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量、営業収入は大幅改善、営業利益も改善の見込み。

(3) 一般貨物

一般貨物は、輸送数量は大幅改善、営業収入、営業利益は改善の見込み。

(4) 運賃水準

各貨物とも大きな変化はみられず、やや下落が続く見込み。

(5) 実働率等

実働率、実車率とも改善の見込み。

雇用状況はやや改善し、人手の過剰感はさらに弱まる見込み。採用はやや改善するが引き続きやや減少の見込み。所定外労働時間は改善するが、引き続きやや減少の見込み。

保有車両台数は引き続きやや減少、貨物の再委託（下請運送会社への委託）はやや減少となる見込み。

(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、九州を除いてすべての地域で改善を見込んでいる。とくに中部、北陸信越では大きく改善する見込み。

事業者の規模別では、全ての規模で改善を見込んでいる。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物を筆頭に、すべての品目で改善を見込んでいる。

3. 特積貨物の概況

項 目		概 況	
宅	輸送数量	前回 1 7 20 41 33 (-98) 今回 1 4 25 45 25 (-90) 見通 1 7 39 36 17 (-62)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回よりやや改善したが、減少が続く。地域別では、中国、中部、東北、北陸信越、近畿は大幅減少。北海道、四国はやや減少に留まる。 ・ 今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。
	営業収入 (売上高)	前回 1 7 20 40 32 (-96) 今回 1 3 25 45 25 (-91) 見通 1 6 40 36 17 (-62)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回よりやや改善したが、減少が続く。地域別では、中国、中部、東北、北陸信越、近畿は大幅減少。北海道はやや減少に留まる。 ・ 今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。
貨	営業利益	前回 1 8 24 37 30 (-88) 今回 2 8 25 42 23 (-76) 見通 1 6 42 33 19 (-63)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回より改善したが、減少が続く。地域別では、中部、近畿、中国は大幅減少。北海道、四国、東北はやや減少に留まる。 ・ 今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。
	運賃・料金の水準	前回 0 4 56 31 10 (-46) 今回 0 6 54 31 9 (-43) 見通 1 1 62 25 11 (-44)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回よりわずかに改善したが、やや下落が続いている。地域別では、北陸信越、中部、近畿は下落。北海道は横ばいとなっている。 ・ 今後も今回と同様に、やや下落が続く見込み。

【調査の概要】

- ◆平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。
今回は平成21年9月25日に配布。
平成21年10月20日到着分までを集計。
- ◆回収率：70.9%

	特 積	一 般	合 計
調査対象	2 5 6	6 4 4	9 0 0
回収数	1 2 6	5 1 2	6 3 8

項 目		概 況	
宅配	輸送数量		(-110) (-91) (-55)
	<p>・ 前回（大幅減少）から改善し、減少となった。地域別では、中部、東北、関東、北陸信越、中国は大幅減少。北海道、九州はやや減少に留まる。</p> <p>・ 今後は今回より大幅に改善して、やや減少に転じる見込み。</p>		
以外	営業収入 （売上高）		(-112) (-97) (-58)
	<p>・ 前回（大幅減少）から改善し、減少となった。地域別では、東北、中部、中国、北陸信越、関東は大幅減少。北海道はやや減少に留まる。</p> <p>・ 今後は今回より大幅に改善して、やや減少に転じる見込み。</p>		
特積	営業利益		(-94) (-76) (-53)
	<p>・ 前回より改善したが、減少が続く。地域別では、中部は大幅減少。北海道、北陸信越はやや減少に留まる。</p> <p>・ 今後は今回より改善して、やや減少に転じる見込み。</p>		
物	運賃・料金の水準		(-40) (-45) (-46)
	<p>・ 前回よりやや悪化し、やや下落が続く。地域別では、北陸信越は下落だが、北海道は横ばいとなっている。</p> <p>・ 今後も今回と同様に、やや下落が続く見込み。</p>		

凡例

	大幅に	増加・上昇・好転・人手不足	+ 2点
	やや	増加・上昇・好転・人手不足	+ 1点
	横ばい		0点
	やや	減少・低下・悪化・人手過剰	- 1点
	大幅に	減少・低下・悪化・人手過	- 2点

(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。

(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1~+2、横ばい0、減少・悪化-1~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A（設問Aの回答者数）= a₁+a₂+a₃+a₄+a₅（設問Aの選択肢1~5の回答数の和）

指標 = { (+2×a₁) + (+1×a₂) + (0×a₃) + (-1×a₄) + (-2×a₅) } ÷ A × 100

4. 一般貨物の概況

項 目	概 況
輸送数量 (全体)	<p> 前回 1 4 18 42 35 (-105) 今回 1 4 26 43 26 (-89) 見通 0 10 37 39 14 (-57) </p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回 (大幅減少) から改善し、減少となった。地域別では、中部、北陸信越、中国、東北は大幅減少。北海道はやや減少に留まる。品目別では、機械関連貨物で大幅減少。 ・今後は今回より大幅に改善して、やや減少に転じる見込み。
営業収入 (売上高)	<p> 前回 1 4 19 40 36 (-106) 今回 1 7 24 41 28 (-88) 見通 1 9 35 40 16 (-62) </p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回 (大幅減少) から改善し、減少となった。地域別では、中部、北陸信越、中国は大幅減少。北海道はやや減少に留まる。品目別では、機械関連貨物で大幅減少。 ・今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。
営業利益	<p> 前回 2 5 20 40 34 (-99) 今回 1 9 28 39 24 (-75) 見通 1 10 36 37 17 (-59) </p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より改善したが、減少が続く。地域別では、中部は大幅減少。北海道、四国、及び規模別では大規模事業者はやや減少に留まる。品目別では、機械関連貨物で大幅減少。 ・今後は今回より改善して、減少に転じる見込み。
運賃・料金の水準	<p> 前回 1 2 59 31 8 (-45) 今回 0 3 64 25 8 (-38) 見通 0 2 65 25 7 (-37) </p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回よりやや改善したが、やや下落が続いている。地域別では、北海道のみ横ばいとなっている。 ・今後も今回と同様に、やや下落が続く見込み。

5. 共通の概況

項 目	概 況
<p>実働率</p>	<p>・前回より改善したが、低下が続く。地域別では、中部は大幅低下。北海道、四国、関東はやや低下に留まる。規模別では大規模事業者、品目別では消費関連貨物はやや低下に留まる。 ・今後は今回より改善して、やや低下に転じる見込み。</p>
<p>実車率</p>	<p>・前回より改善したが、低下が続く。地域別では、中部は大幅低下、北陸信越も水準が低い。 ・今後は今回より改善して、やや低下に転じる見込み。</p>
<p>雇用状況 (人手の過不足)</p>	<p>・前回より改善したが、やや人手過剰。地域別では北海道、品目別では消費関連貨物において過不足ない状態。 ・今後は今回よりやや改善して、人手過剰感は弱まる見込み。</p>
<p>採用状況</p>	<p>総数(千名)</p> <p>・前回よりやや改善したが、やや減少が続く。地域別では、北陸信越は減少。一方、北海道は前年並み。品目別では、機械関連貨物は減少となっている。 ・今後は今回よりやや改善するが、やや減少が続く見込み。</p>
<p>所定外労働時間</p>	<p>・前回(減少)から改善し、やや減少となった。地域別では、北海道のみ前年並み。北陸信越、中部、中国、東北は減少。品目別では機械関連貨物、建設関連貨物で減少となっている。 ・今後は今回より改善するが、やや減少が続く見込み。</p>

項 目																					
保有車両台数	<p>Stacked bar chart showing the percentage distribution of vehicle ownership across four categories (represented by different patterns) for three periods: '前回' (Previous), '今回' (Current), and '見通' (Forecast). The x-axis represents percentages from 0% to 100%. The values for each category are as follows:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>前回 (%)</th> <th>今回 (%)</th> <th>見通 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Category 1 (Dotted)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Category 2 (Horizontal Lines)</td> <td>62</td> <td>63</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>Category 3 (Diagonal Lines)</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>Category 4 (Cross-hatch)</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>Overall values: 前回 (-36), 今回 (-34), 見通 (-26)</p>	Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)	Category 1 (Dotted)	4	4	4	Category 2 (Horizontal Lines)	62	63	69	Category 3 (Diagonal Lines)	28	27	24	Category 4 (Cross-hatch)	6	6	3
Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)																		
Category 1 (Dotted)	4	4	4																		
Category 2 (Horizontal Lines)	62	63	69																		
Category 3 (Diagonal Lines)	28	27	24																		
Category 4 (Cross-hatch)	6	6	3																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回と同様にやや減少が続く。地域別では、北陸信越は減少。 ・今後は今回よりやや改善するものの、やや減少が続く見込み。 																				
貨物の再委託	<p>Stacked bar chart showing the percentage distribution of cargo re-commissioning across four categories for three periods: '前回', '今回', and '見通'. The values for each category are as follows:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>前回 (%)</th> <th>今回 (%)</th> <th>見通 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Category 1 (Dotted)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>Category 2 (Horizontal Lines)</td> <td>40</td> <td>46</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>Category 3 (Diagonal Lines)</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>Category 4 (Cross-hatch)</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>Overall values: 前回 (-73), 今回 (-62), 見通 (-48)</p>	Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)	Category 1 (Dotted)	5	5	7	Category 2 (Horizontal Lines)	40	46	50	Category 3 (Diagonal Lines)	30	30	31	Category 4 (Cross-hatch)	24	18	12
Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)																		
Category 1 (Dotted)	5	5	7																		
Category 2 (Horizontal Lines)	40	46	50																		
Category 3 (Diagonal Lines)	30	30	31																		
Category 4 (Cross-hatch)	24	18	12																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より改善したが、減少が続く。地域別では四国、北海道は減少幅が小さい。 ・今後は今回より改善して、やや減少に転じる見込み。 																				
経常損益	<p>Stacked bar chart showing the percentage distribution of operating profit/loss across four categories for three periods: '前回', '今回', and '見通'. The values for each category are as follows:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>前回 (%)</th> <th>今回 (%)</th> <th>見通 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Category 1 (Dotted)</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>Category 2 (Horizontal Lines)</td> <td>22</td> <td>29</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>Category 3 (Diagonal Lines)</td> <td>41</td> <td>38</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>Category 4 (Cross-hatch)</td> <td>30</td> <td>21</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>Overall values: 前回 (-94), 今回 (-67), 見通 (-55)</p>	Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)	Category 1 (Dotted)	6	12	11	Category 2 (Horizontal Lines)	22	29	36	Category 3 (Diagonal Lines)	41	38	36	Category 4 (Cross-hatch)	30	21	15
Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)																		
Category 1 (Dotted)	6	12	11																		
Category 2 (Horizontal Lines)	22	29	36																		
Category 3 (Diagonal Lines)	41	38	36																		
Category 4 (Cross-hatch)	30	21	15																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より改善したが、悪化が続く。地域別では、北海道は横ばい、四国はやや悪化に留まる。規模別では、大規模事業者はやや悪化に留まる。品目別では、機械関連貨物は大幅悪化、消費関連貨物はやや悪化に留まる。 ・今後は今回より改善して、やや悪化に転じる見込み。 																				
業界の景況感	<p>Stacked bar chart showing the percentage distribution of industry sentiment across four categories for three periods: '前回', '今回', and '見通'. The values for each category are as follows:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>前回 (%)</th> <th>今回 (%)</th> <th>見通 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Category 1 (Dotted)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>Category 2 (Horizontal Lines)</td> <td>15</td> <td>25</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>Category 3 (Diagonal Lines)</td> <td>39</td> <td>43</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>Category 4 (Cross-hatch)</td> <td>42</td> <td>28</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>Overall values: 前回 (-119), 今回 (-94), 見通 (-76)</p>	Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)	Category 1 (Dotted)	3	4	6	Category 2 (Horizontal Lines)	15	25	32	Category 3 (Diagonal Lines)	39	43	41	Category 4 (Cross-hatch)	42	28	21
Category	前回 (%)	今回 (%)	見通 (%)																		
Category 1 (Dotted)	3	4	6																		
Category 2 (Horizontal Lines)	15	25	32																		
Category 3 (Diagonal Lines)	39	43	41																		
Category 4 (Cross-hatch)	42	28	21																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回（大幅悪化）から改善し、悪化となった。地域別では、中部、中国、北陸信越は大幅悪化。北海道のみやや悪化に留まる。規模別では中規模事業者、品目別では機械関連貨物で大幅悪化となっている。 ・今後は今回より改善するものの、悪化が続く見込み。 																				

6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																								
<p>① 地域（注4）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道は、全国順位 1 位を継続し、景況感は大幅改善。 ・東北は、全国順位 4 位から 3 位に上がり、景況感は改善。 ・北陸信越は、全国順位 5 位から 7 位に下がったが、指標の水準は横ばい。 ・関東は、全国順位 6 位から 4 位に上がり、景況感は大幅改善。 ・中部は、全国順位 9 位のままだが、景況感は改善。 ・近畿は、全国順位 7 位から 5 位に上がり、景況感は大幅改善。 ・中国は、全国順位 8 位のままだが、景況感は改善。 ・四国は、全国順位 3 位から 2 位に上がり、景況感は改善。 ・九州は、全国順位 2 位から 6 位に下がったが、指標の水準はやや改善。 <p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 1 年 4～6 月期</th> <th>H 2 1 年 7～9 月</th> <th>H 2 1 年 10～12 月期見通し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 位</td> <td>北海道</td> <td>北海道</td> <td>北海道</td> </tr> <tr> <td>2 位</td> <td>九州</td> <td>四国</td> <td>四国</td> </tr> <tr> <td>3 位</td> <td>四国</td> <td>東北</td> <td>北陸信越</td> </tr> <tr> <td>4 位</td> <td>東北</td> <td>関東</td> <td>関東</td> </tr> <tr> <td>5 位</td> <td>北陸信越</td> <td>近畿</td> <td>中部</td> </tr> <tr> <td>6 位</td> <td>関東</td> <td>九州</td> <td>東北</td> </tr> <tr> <td>7 位</td> <td>近畿</td> <td>北陸信越</td> <td>近畿</td> </tr> <tr> <td>8 位</td> <td>中国</td> <td>中国</td> <td>中国</td> </tr> <tr> <td>9 位</td> <td>中部</td> <td>中部</td> <td>九州</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>— 文字の凡例 —</p> <p>標準文字: やや悪化 ゴシック: 悪化 反転文字: 強い悪化</p> </div>		H 2 1 年 4～6 月期	H 2 1 年 7～9 月	H 2 1 年 10～12 月期見通し	1 位	北海道	北海道	北海道	2 位	九州	四国	四国	3 位	四国	東北	北陸信越	4 位	東北	関東	関東	5 位	北陸信越	近畿	中部	6 位	関東	九州	東北	7 位	近畿	北陸信越	近畿	8 位	中国	中国	中国	9 位	中部	中部	九州
	H 2 1 年 4～6 月期	H 2 1 年 7～9 月	H 2 1 年 10～12 月期見通し																																						
1 位	北海道	北海道	北海道																																						
2 位	九州	四国	四国																																						
3 位	四国	東北	北陸信越																																						
4 位	東北	関東	関東																																						
5 位	北陸信越	近畿	中部																																						
6 位	関東	九州	東北																																						
7 位	近畿	北陸信越	近畿																																						
8 位	中国	中国	中国																																						
9 位	中部	中部	九州																																						
<p>② 規模（注5）</p>	<p>・業界の景況感は、中規模事業者で大幅悪化となっている。</p>																																								
<p>③ 品目（注6）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費関連貨物は悪化だが、品目別では相対的に厳しさは緩やか。一般貨物の輸送数量では、日用品などで改善がみられた。今後も改善し、悪化幅を縮める見込み。 ・建設関連貨物は悪化だが、前回から大きく改善している。一般貨物の輸送数量では、金属製品、鉱産品などで改善がみられた。今後も今回よりは改善するが、引き続き厳しい見込み。 ・機械関連貨物は前回より改善したが、引き続き品目別で最も悪い。一般貨物の輸送数量では、電気機械には改善がみられたが、その他機械はさらに水準を下げた。今後は今回より改善する見込み。 ・その他貨物は悪化だが、前回から大きく改善している。一般貨物の輸送数量では、石油製品などで改善がみられた。今後は今回より改善する見込み。 																																								

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品(セメント等)など

機械関連貨物：電気機械(家電含む)、輸送機械(自動車等)など

その他貨物：石炭、原油、金属、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覽表

		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全 体		↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	↘
地 域	北海道	↘	↘	→	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	↘	→
	東北	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↓	↓	↘
	北陸信越	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↘
	関東	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	↘
	中部	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↘	↘	↓	↓	↘
	近畿	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↘	↘	↓	↓	↘
	中国	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↓	↓	↘
	四国	↘	↘	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↘	↘	→	↓	↘	↘
	九州	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↘	↘
事 業 者 規 模	小規模事業者	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	↘
	中規模事業者	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↘	↘	↓	↓	↘
	大規模事業者	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	↘
取 り 扱 い 品 目	消費関連貨物	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	↘
	建設関連貨物	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	↘
	機械関連貨物	↓	↘	→	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↘
	その他貨物	↓	↓	↘	↓	↘	↘	↓	↓	↘	↓	↘	↘	↓	↓	↘

(注7) 各項目は、関連する判断指標(前年同期に対する水準)から平均値を算出。

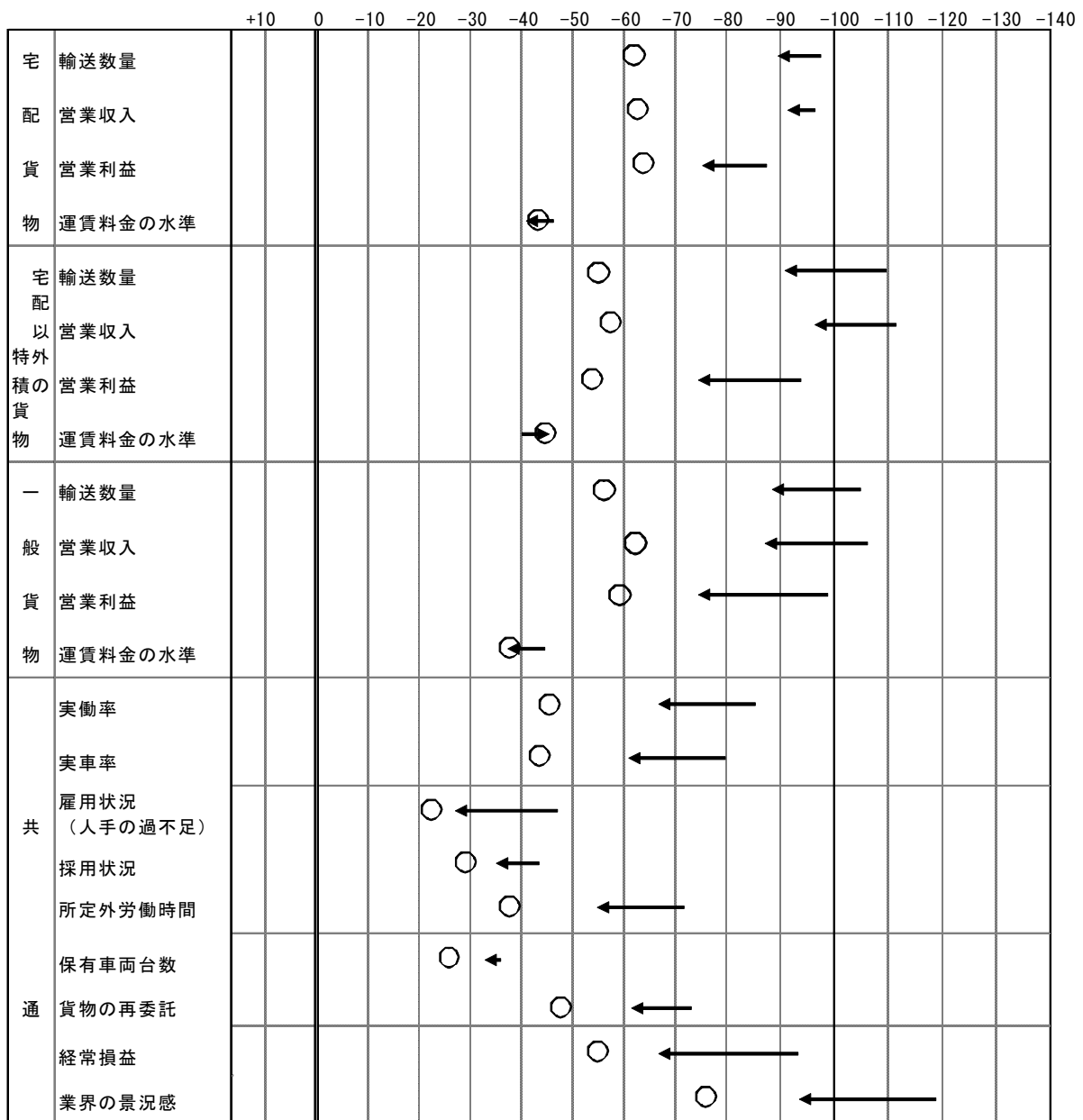
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

凡例・各欄は、左:前回(4-6月) 中央:今回(7-9月) 右:見通し(10-12月)

・矢印と判断指標の対応

判断指標	… -100 … -60 … -20 … +20 … +60 … +100 …
矢 印	↓ ↓ ↘ → ↗ ↑ ↗

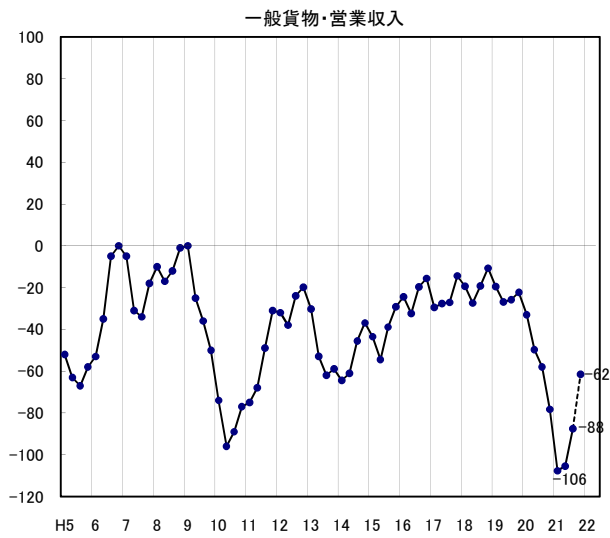
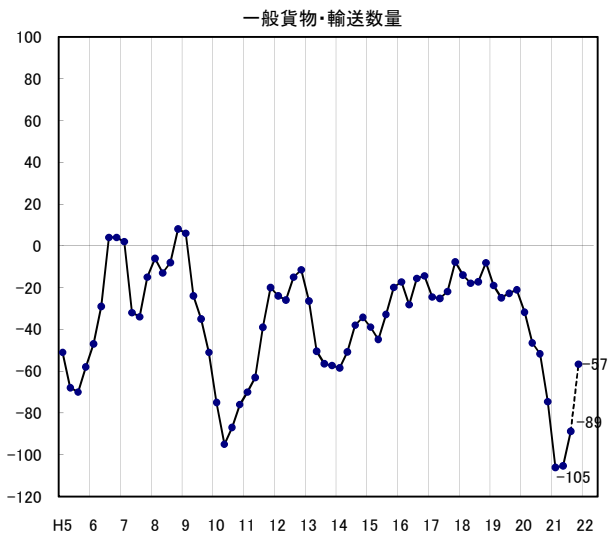
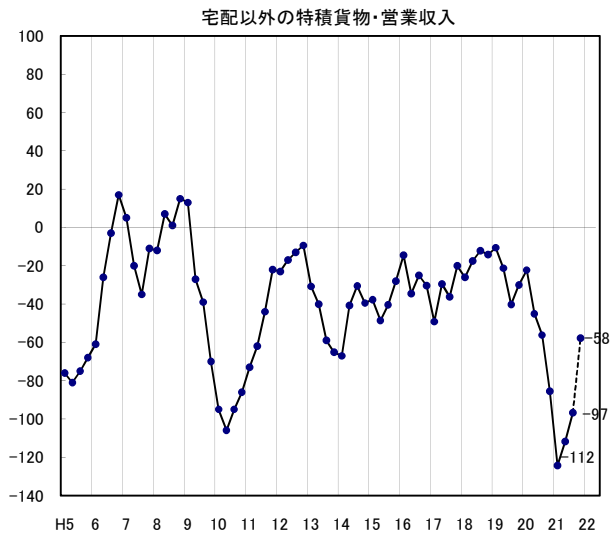
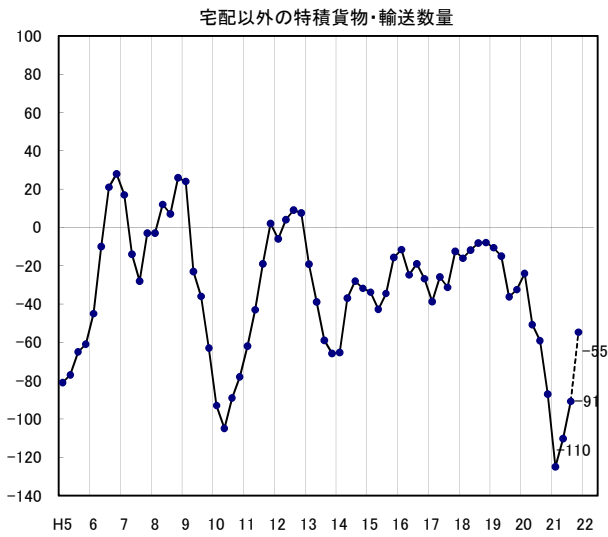
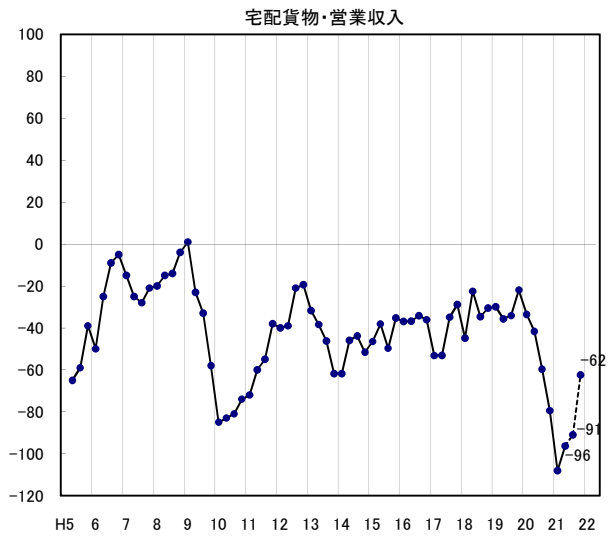
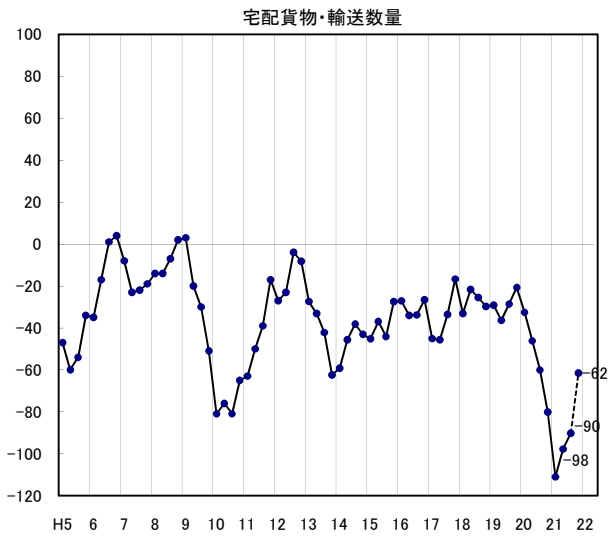
8. 業況判断指標の前回調査（平成21年4月～6月期）からの変化



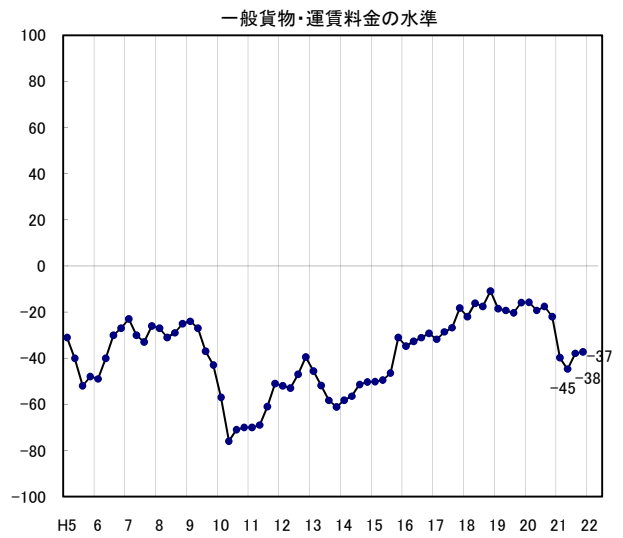
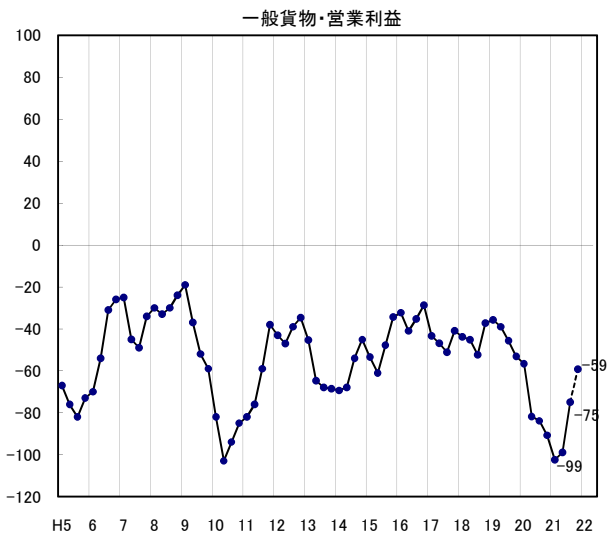
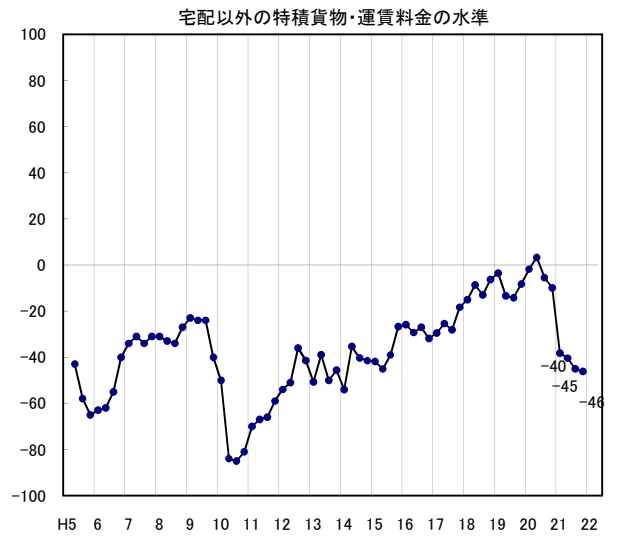
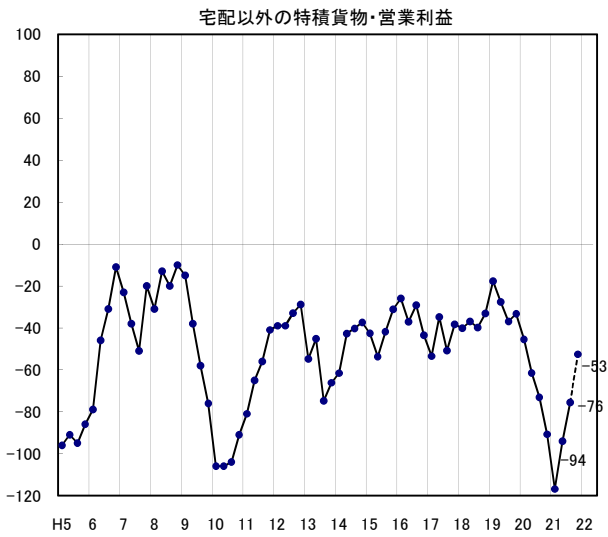
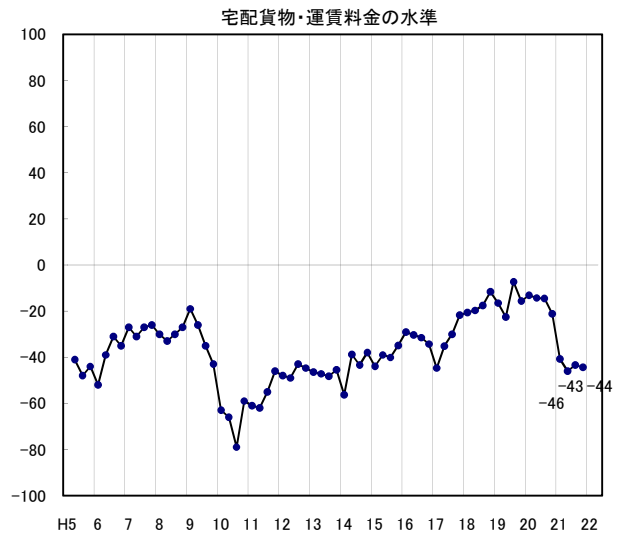
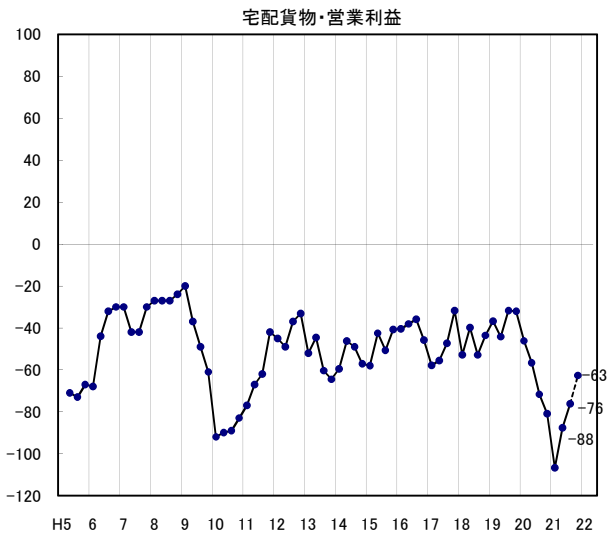
凡例

矢元： 4-6月期の実績	矢先： 7-9月期の実績	白丸： 10-12月期の見通し
-----------------	-----------------	--------------------

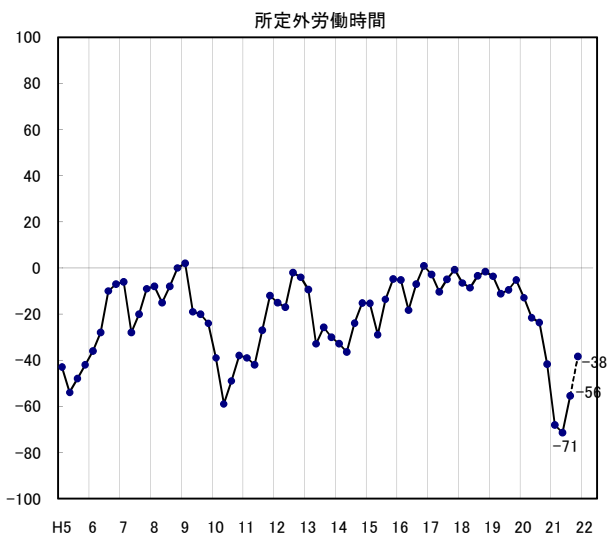
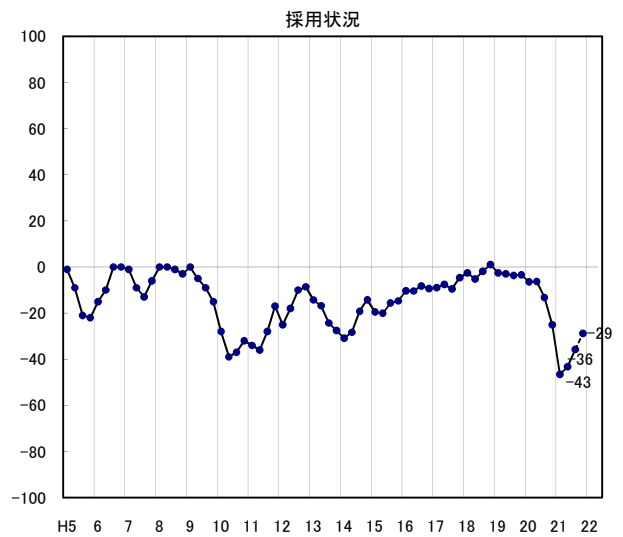
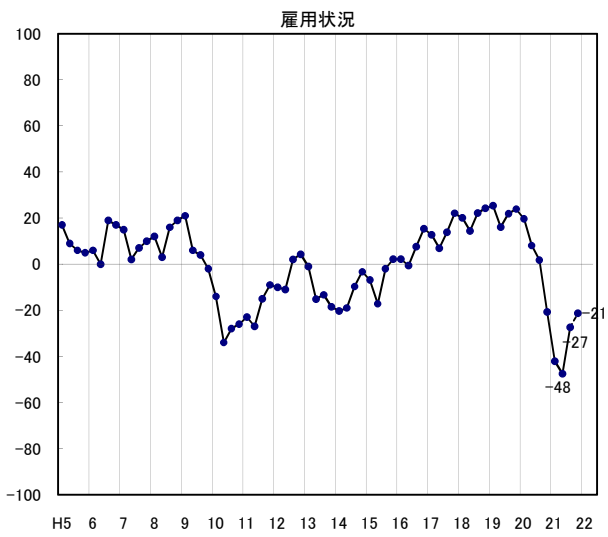
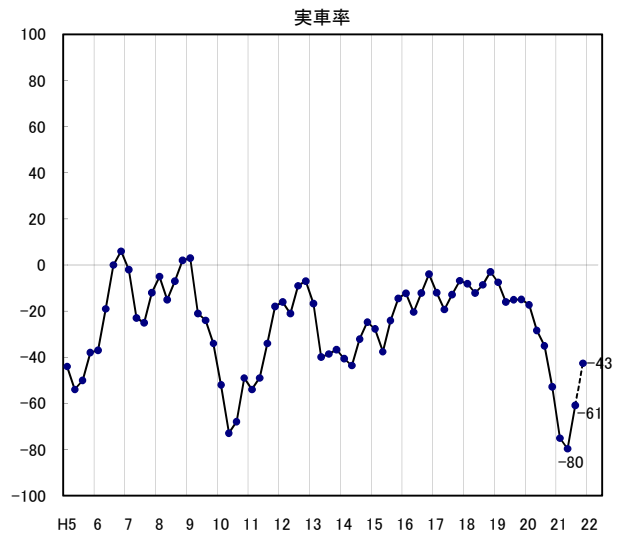
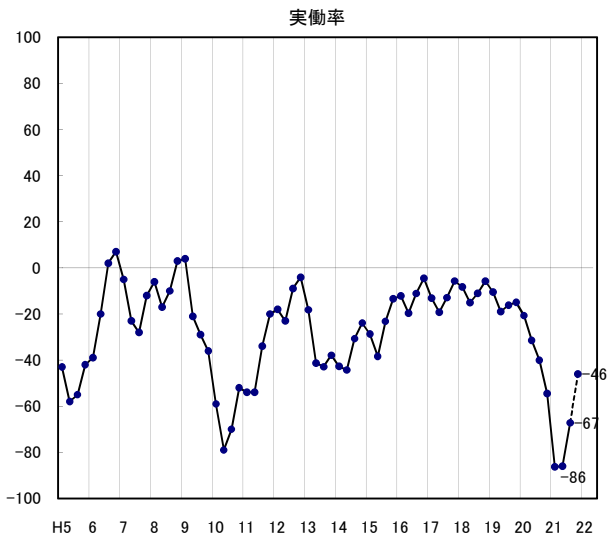
業況判断指標の推移
 平成5年第1四半期～平成21年第3四半期実績、平成21年第4四半期見通し



業況判断指標の推移
平成5年第1四半期～平成21年第3四半期実績、平成21年第4四半期見通し



業況判断指標の推移
平成5年第1四半期～平成21年第3四半期実績、平成21年第4四半期見通し



業況判断指標の推移
 平成5年第1四半期～平成21年第3四半期実績、平成21年第4四半期見通し

